



硬式野球部、
「全日本大学野球選手権大会」
出場！東京ドームへ！

硬式野球部は、5月に行われた東海地区大学野球春季選手権で見事優勝し、「全日本大学野球選手権大会」に8年ぶり3度目の出場を果たしました。6月6日、東京ドームでOBや家族がエールを送る中、東日本国際大学と対戦し、本塁打を含む二桁安打を放つも3対10と、悔しい初戦敗退となりました。現在、次の目標「明治神宮野球大会」初出場を目指し、チーム一丸となって練習に励んでいます。

研究 PRESS RELEASE

研究成果を発表して報道されたものをご紹介します(2022年4月~7月)



司法試験の自動解答国際コンテストで首位を獲得

情報学部の狩野芳伸准教授の研究グループが作成した自動解答器が、司法試験の自動解答を競う国際コンテストCOLIEE 2022で、首位の正答率を達成しました。人工知能分野において、人間の言葉を扱う自然言語処理は、世界が研究開発にしのぎを削る最後のフロンティア。「法律のわかるAI」として裁判過程の自動化支援につながる本研究に期待が高まっています。

- 工学部・吉田信行 「『NMN乳酸菌』が皮膚細胞でコラーゲンとヒアルロン酸を産生することを発見」
- 光医工研究科/電子工学研究所・佐々木哲朗 「テラヘルツ波を利用した廃プラスチック識別装置の開発」
- 工学部・能見公博 「超小型衛星STARS-EC成果報告-宇宙空間でレーザーの制御に成功-
- 理学部・守谷誠 「難燃性のイオン液体を構成要素とし、温和な条件下で高いマグネシウムイオン伝導性を示す分子結晶電解質の作製」
- 教育学部・村越真 「子どもの『やってみよう!』を支えるために-遊びの中のリスクマネジメント-
- 人文社会科学部・横田宏樹 「ヨキカグ『みぢかな木のコンセプト家具』をお披露目-静岡県産木材の新たな活用-
- グリーン科学技術研究所/情報学部・峰野博史 「実圃場におけるワインブドウの小さな花を高精度にカウンティングするAIの研究開発に成功」

アンケートにご協力ください

静岡大学広報誌「SUCCESS」vol.28の誌面に関するWEBアンケートにご協力ください。抽選で20名様に静岡大学オリジナル蛍光ペンを1本プレゼント!当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。



左記QRコードによりアクセスいただき、WEBにてご回答ください。
応募締切:2022年12月31日(土)

編集後記

今号では、全日本大学野球選手権大会への出場を果たした硬式野球部を表紙にしました。私たち広報係も東京ドームへ行ってきました。学生のハツラツとしたプレーを現地で観戦し、心が熱くなりました。本誌を通じて学生の活躍や本学の活動を知っていただき、共に応援いただけますと幸いです。



全国大会で大躍進!
静大の部活動・サークル

将棋部・林昂平さん
全日本学生将棋名人戦
にて第3位に!

6月4~5日に開催された第78回全日本学生将棋名人戦にて、将棋部の林昂平さんが見事第3位になりました。将棋部では、普段から部員同士で切磋琢磨し、お互い高め合っ練習しています。その成果が発揮されました。



将棋部は中部春季団体戦でも準優勝を果たしました

サイクリング部「SUCC」
山口瑛志さんMt.富士
ヒルクライム8位入賞!

世界遺産・富士山で、富士スバルラインを走行する日本最大級のヒルクライムレースで、サイクリング部SUCCの山口瑛志さんが主催者選抜クラス(約80名が参加)で見事8位入賞しました!



6月12日、距離25km、標高差1,270mのコースを競いました

SUCCESS

静岡大学広報誌 サクセス

Shizuoka University
Current affairs &
Connective paper for
Every graduate
Student &
Staff



Autumn 2022

特集

新学部「グローバル共創科学部」の紹介

／学長対談 渡邊 信之氏(駐パプアニューギニア日本国特命全権大使)



硬式野球部が全日本大会に出場 関連記事は裏表紙へ!



2023年
4月

グローバル共創科学部を開設します

人をつなぎ、未来社会を構想するための学びがここに

学びのポイント

POINT 1 地域国際連携、ゼロカーボン社会、人間科学を中心とし、幅広いリベラルアーツを身に付ける	POINT 2 国際的かつデジタル社会におけるコミュニケーション力を身に付ける	POINT 3 多様性を尊重し、他者との協働による課題解決力を身に付ける
---	--	---

特色あるカリキュラム

学部共通科目として1年次に共創の概念を学び、それに続く共創に必要な要素を身に付ける科目を履修した上で、3年次より学生個人が専門分野を選択し、高度な知識・技術や考え方を身に付ける。

教養科目		単位数		1年次		2年次		3年次		4年次	
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
		9	11								
学部共通科目	グローバル系科目	10	6								
	データサイエンス系科目	10	2								
	共創科学系科目	10									
	人文・社会科学系科目	6	8								
	自然科学系科目	4	8								
	卒業研究	6									
コース専門科目	コース専門科目		26								
	上記の科目群から履修する科目		8								

学長メッセージ 日誌一幸 学長

近年、私たちは、地球規模の課題や地域の課題に至るまで、複雑で多様な社会課題に直面しています。こうした課題に取り組むには、一つの専門分野の専門知のみでは解決できず、「総合知」を活用することが必要となります。

そこで、人文・社会科学から自然科学に至る幅広い学部をもつ、総合大学としての特性を最大限に活かし、多様な人々と協働し、広汎で多様な知をつないで、複眼的な観点から社会課題を捉え、未来社会を構想できるような「共創型の人材」を育成することが、地域の国立大学としての静岡大学に求められていると考えます。

また、これらの課題解決には、地球規模の視点を持っていることも必要です。地球規模、つまりグローバルな視点から社会課題に取り組むことができ、国際社会において主体的に活躍できる「グローバルな人材」を育てることも、本学部がめざすものです。

このような考えから、グローバル共創科学部という文理融合型の新しい学部を作ることとしました。新学部の設置は、平成8年4月に学生受け入れを開始した情報学部以来27年ぶりです。

10年後、20年後の未来を見据え、静岡県に置かれた総合大学、国立大学として一層の地域貢献に努めてまいります。

1 学科(グローバル共創科学科) 3 コース制

グローバル共創科学部は、学問領域の分野の垣根を越えた多様な知の交流を促すことを重視しており、学問分野・専門分野の垣根を取り払った、1学科3コース制をとっています。

国際地域共生学コース	現代に生きる人々が、より創造的かつ友好的に暮らすために	<ul style="list-style-type: none"> 国際化する地域社会に適した人権、法、社会保障の探求・構築 多様な人々が暮らす地域社会での包摂的な生活環境や災害への対応の検討 芸術・文化を通じた人と社会の創造的な協働の場の創出
	カリキュラムの特徴	<ul style="list-style-type: none"> 社会学・文化人類学・法学・芸術文化・建築学などを基礎に幅広く学ぶ 国際社会と地域社会を通過する社会課題を考察し、解決を構想する思考力を養う 言語にとどまらない幅広いコミュニケーション・スキルの手法を修得する
生命圏循環共生学コース	新たな価値を創出し、持続可能な循環型社会を実現するために	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー、持続的な食料や材料生産などの技術開発と社会実装 気候変動により激化する災害への対応 社会の新しい価値と仕組みの創生
	カリキュラムの特徴	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー、食料、生物材料、社会インフラ、生態系等の循環・再生についての最先端の技術と人間社会の仕組みを理解する 物理学・化学・生物学・法学・経済学・社会学を中心とした基礎を幅広く学ぶ 地球(生命圏)と人間社会が共生するための課題設定&課題解決能力を養う
総合人間科学コース	人間とはどうあるべきかを問い続け、真の豊かさを主体的に実現するために	<ul style="list-style-type: none"> 人間の総合的理解を通じた、新たなウェルビーイングの探求 人・自然をめぐる地域課題の解決を通じた共生社会の実現 先端科学技術の発展と調和した人間社会の検討
	カリキュラムの特徴	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ科学・心理学・法学・倫理学など、ウェルビーイングに関わる多様な学問を、専門的・包括的に学ぶ 人・自然との共生をマネジメントできる実践力を育成する Society5.0を見据えた情報科学教育

入学者選抜の方式	募集人員
共通テストを課さない 総合型選抜	28名
共通テストを課す 学校推薦型選抜	20名
一般選抜 前期日程	47名
一般選抜 後期日程	20名
合計	115名



駐パプアニューギニア
日本国特命全権大使

渡邊 信之氏

静岡大学人文学部(現・人文社会科学部)法学科卒

グローバルな視点で 地域課題にもアプローチを ～新学部への期待を語る～



渡邊 信之氏…1959年、静岡県生まれ。1982年に外務省に入省。在ポストン日本国総領事館幹事、在重慶日本国総領事館総領事などを経て現職。

40年ぶりの母校で学生に特別講演を行ったあと、学長と対談しました



学生たちには積極的に 世界と関わってほしい

日誌 今日には学生たちに外交官の仕事や世界との関わりについて大変貴重なお話をありがとうございました。私も一番前で拝聴しました(笑)。

渡邊 大学は卒業以来、40年ぶりに来ました。人文学部の校舎は変わってしまい、少し寂しいですが、キャンパスを歩くと、変わっていないなあ…と思うところも多く、非常に嬉しかったです。

日誌 講演で、一番伝えたかったことは何ですか。

渡邊 日本は海外と深く関わっていますので、世界の動きに目を向けてほしい、できれば積極的に関わってほしいとお伝えしました。



日誌 静大でも近年、留学生を多数受入れています。企業の応援を得ながらアジアの国々から留学生を受け入れるABPプログラムでは、卒業後、静岡との懸け橋となっていただくことを目指しています。また、海外への留学もかなり増えています。

渡邊 大学の重点施策として国際人材

の育成に取り組まれているんですね。学生たちは身近に外国と交流する機会が増え、私の学生時代と比べると隔世の感があります。好奇心が旺盛な若いうちに、外国の人と直接携わる経験を持てば、人生の幅も広がると思います。

時代の要請に応える 「グローバル共創科学部」

日誌 令和5年度に新設される「グローバル共創科学部」では、地球規模の課題解決はもちろんですが、グローバルな視点を身につけることにより、日本社会の課題、身近な地域社会の課題にも、多様なアプローチができる人材の育成を目指します。国際的なコミュニケーションとデジタル社会に対応できるデータサイエンスを学び、社会課題の解決に必要な専門性の高い知識を身につけることができるよう、文系・理系を横につなぐ文理融合型の教育を行っていきます。

渡邊 すばらしいと思います。国際社会に出てみると、私は経済学部ですから、工学部ですから、〇〇学部ですから、などということより、むしろ今問題となっている 이슈について問題提起し、共有したうえでともに解決策を導いていきます。

まさに、コミュニケーション能力とそれぞれの専門性の両方で物事がどん

どん形作られていくので、時代の要請に応じた人材の育成に期待しています。

地域課題の解決にも 取り組みたい

渡邊 静岡には日本を代表する企業が多く、国際的にも活躍しています。グローバルな課題を勉強するには、非常に恵まれた場所だと思います。



日誌 世界に誇る富士山と駿河湾など豊かな自然環境を研究の資源と捉え、深めていくことによって国際的な交流も広げていけたらと思っています。静岡大学の学生は県内外から来ているので、広くグローバルな視点を持ちながら地域の課題にもアプローチできる複眼的な思考を持った人材の育成をぜひやっていきたいと思っています。

渡邊 学生の皆さんには、一生お付き合いできる友達や趣味を見つけていただければと思います。

日誌 また、ぜひご経験を学生たちにお伝えいただきたいです。本日はありがとうございました。

研究最前線 静岡大学の若手研究者たち

芸術文化の継承と発展、
人類の「知」に貢献する



潜在的な悩みに応じた
自動名言提示システム
「人工天啓」

ゆっくりと時間をかけることで人は「考える力」や「創造性」を発揮・鍛錬できるのではないかと。自分の言動、思考をゆっくり振り返る中でこそ、自分が本当にしたいこと・すべきことを見つけれられるのではないかと。私は、人間が持つそれらの力を発揮して、未来社会の多様性を高めることが重要であると考えています。

山本 祐輔
YAMAMOTO Yusuke
情報学部 行動情報学科 准教授

教師ウェブサイト

今日、AIなど情報技術の画期的な進歩によって、様々な情報処理が楽にかつ効率よく行えるようになり、情報処理にかかっていた時間やエネルギーが、他のことに使えるようになりました。しかし、余分な時間やエネルギーが生まれたことによって、クリエイティブなことをする機会が増えただろうか。例えばスマホなどの変換機能に依存し、漢字が書けなくなってしまうなど、情報技術の進歩がもたらす人間の創造力への影響が近年問題視されています。

私の研究室では、「Slow Informatics」というコンセプトのもと、情報技術による自動化・効率化が進む社会において、逆に作業をゆっくりさせることで人々に気づきを与え、じっくりと情報処理を行う機会を提供する情報インタラクション技術や方法論について研究開発を行っています。

情報技術と人間の創造力の バランスとは - Slow Informatics -

山本 祐輔
YAMAMOTO Yusuke
情報学部 行動情報学科 准教授

教師ウェブサイト



私たちは普段、アクターの行動の結果しか見聞きできませんが、実際の紛争や国際裁判の判決などを分析すると、国際社会におけるアクターが、どのような動機で行動し、どのような理屈で自身を正当化し、対立点をどう克服してきたか、実に巧みに行動していることがわかります。未知なる発見に遭遇し、そのたびに国際法の面白さを実感しています。

様々な条約・条文や
紛争事例を分析しています

川岸 伸
KAWAGISHI Shin
人文社会科学部 法学科 准教授

教師ウェブサイト

非国際的武力紛争を規律する 武力紛争法

川岸 伸
KAWAGISHI Shin
人文社会科学部 法学科 准教授

教師ウェブサイト

国際社会においては、これまで国家が主要なアクターでしたが、現在では、テロ組織などの非国家主体が飛躍的に行動領域を拡大させています。世界に目を向けてみれば、武装集団が関与しない紛争はほとんどありません。国際法では、国家間で武力行使されることを前提としていますが、現在では国家と非国家主体との間の紛争が多く、法の枠組みと現実の間でずれが生じています。

そこで私は、条約や条文の成立過程、実際に生じた紛争事例、国際裁判の判決などを分析し、国際法上、非国際的武力紛争にどのようなルールが適用されるのか、法的にどう解決できるか、非国際的武力紛争を規律する国際法(特に武力紛争法)のあり方を解明する研究に取り組んでいます。

音は鳴った瞬間から消えてしまうものですが、私たちは楽譜を頼りに何百年も前の音楽も楽しむことができます。しかし、楽譜はあくまで音楽を記号化したものであり、そこから音楽を生み出すには、楽譜に書き表すことができない演奏者の「解釈」が不可欠です。

私は、楽譜に書かれざる演奏解釈がどのように伝承・形成されるのかを、レッスンを分析することで研究しています。レッスンでは、音や身振り、言葉を用いて、音楽解釈や演奏法が口頭伝承されており、レッスンを分析することで、記譜されない演奏習慣や伝統の実態、それらが口頭伝承される過程を知ることができます。師の演奏解釈を頭(知識)と身体(技能)の両方で会得していくプロセスは暗黙知とのつながりもあり、広がりのある研究分野だと感じています。

クラシック音楽における 演奏解釈の形成と伝承

後藤 友香理
GOTO Yukari
教育学部 音楽教育専修 講師

教師ウェブサイト



楽譜への書き込みも
分析につながります

自律的な音楽とは違い、演奏は「いつ・どこで・誰と・どのように」聴くかによってその都度変わります。私は演奏活動を通じて、音楽がどのように地域文化の発展に貢献できるのか、新しい表現や解釈の可能性を模索しています。みなさんもぜひ耳でだけでなく空間ごと音楽を体感してください。

強制法理論と実数直線上の 組合せ論

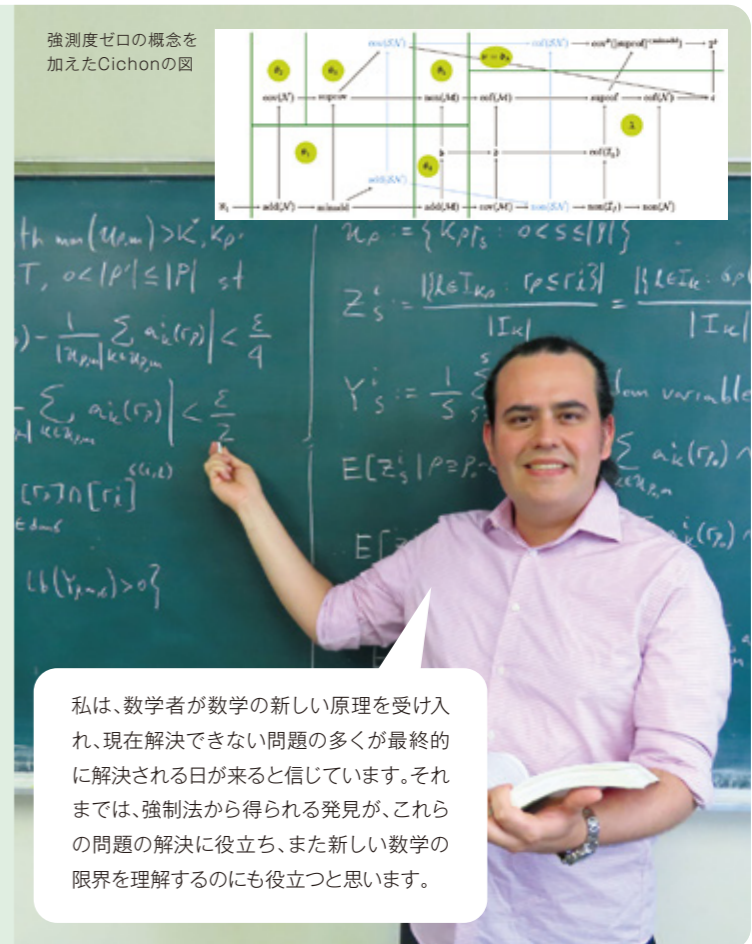
メヒア ディエゴ
MEJIA Diego
理学部 創造理学コース 准教授

教師ウェブサイト

数学的な疑問が生じたとき、数学者はそれが正しいかどうかを確認しますが、20世紀に創造された「強制法理論」などにより、数学(数学的宇宙)の中では真偽を決定できない数学的命題が発見されました。これにより科学の中で最も厳密な数学でさえ限界があり、その主要な対象の一つ「実数直線」にも影響されることが明らかになりました。

強制法理論とは、自然数や実数のような全ての数学的対象が存在する抽象的な宇宙を拡張し、別の数学的現実を見ることを可能にする手法です。拡張された宇宙の中に新たな実数が見れることで、実数直線の組合せ論がこの拡張の中で操作できるようになります。

私は、主に「強制法理論」と「強制法が実数直線の組合せ論に与える影響」について研究し、これらの組合せ論的概念を理解するために、新しい強制法手段の創造を目指しています。



強測度ゼロの概念を加えたCichonの図

私は、数学者が数学の新しい原理を受け入れ、現在解決できない問題の多くが最終的に解決される日が来ると信じています。それまでは、強制法から得られる発見が、これらの問題の解決に役立ち、また新しい数学の限界を理解するのにも役立つと思います。

「多角的に物事を捉える能力」大学で養い、今に生きる

さわ い しん や
澤井 伸也 さん

農学部
総合科学技術研究科農学専攻(2018年3月卒)
竹本油脂株式会社 勤務(研究開発)

1993年生まれ、静岡県立静岡東高等学校卒
趣味/キャンプと旅行
好きな言葉/「小さなことからコツコツと」



「お茶」の香りに関する研究に没頭

食品や発酵に関する研究がしたくて、地元を代表する大学、静岡大学の農学部を選びました。大学院では、静岡の重要な産業である「お茶」の香りに関する研究に携わり、ひたすら実験に取り組みました。大学院生活を通して「多角的に物事を捉える能力」を養い、実験結果に対していろいろな可能性を考えると、より深く洞察することができるようになりました。学んだ手技や考え方は現在の仕事にも活かしています。



農薬製剤を開発する仕事が楽しくて

現在、農業用の化学品や化学品を用いた農薬製剤の開発に取り組んでいます。技術営業的な仕事もあり、お客様と直接関わりを持つことが多いです。元来いろいろな学問に興味があり、人とコミュニケーションをとることも好きでしたので、この仕事を選びました。研究室の延長線にあたり、半分趣味のように楽しみながら働いています。



農薬製剤を開発しています

研究開発の成果が形になる喜び

自分の開発したものが成果として形になったときはとてもやりがいを感じます。今後は、「仕事をつくる」ことに積極的に取り組んでいきたいです。市場ニーズを適切に把握し、新規開発テーマの立ち上げに繋がりたいと考えています。将来的には農業事業のみならず、他事業でも活躍したいです。

大学時代に得たかけがえのないもの

農学祭の実行委員会に参加し、大きな行事を成し遂げる過程で、周りとの協力して物事に取り組む姿勢を学びました。そこで出会った友人や後輩とは今でも良い関係が続いています。



農学祭実行委員会ではかけがえのない友人に出会いました

大学院の魅力を伝えたい

理系を選択した学生さんには大学院まで進学することをお勧めします。大学院生活は得ることも多く、何より就職先の選択肢が大きく広がります。腰を据えて基礎研究に打ち込めるのも大学ならではの貴重な経験だと思います。インドネシアの大学との交流にチャレンジできたことも良い経験でした。大学にはそのような対外的な交流活動に学生が積極的に挑戦できる環境づくりを期待しています。



チャレンジすることで人生を豊かに

やま だ ゆ き
山田 優希 さん

情報学部
総合科学技術研究科情報学専攻(2019年3月卒)
ヤマハ株式会社IMC事業本部
ヤマハファインテック株式会社 勤務(生産管理)

1994年生まれ、静岡学園高等学校卒
趣味/モータースポーツ
好きな言葉/「失敗を恐れて何もしないなんて人間は、最低なのである」

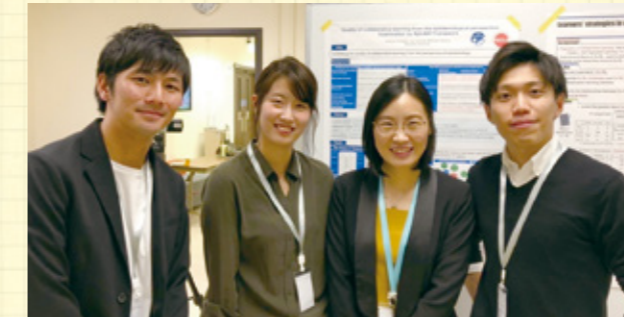


「学習マネジメント」の講義で方針転換!

高校時代は日本史に興味があり、史料館等への就職を考えていたため、「学芸員」の資格を取得できる情報学部情報社会学科を選びました。でも、学部在学中に受講した「学習マネジメント」という講義でグループワークの研究に興味を持ち、協調学習についてもっと学びたいという思いから総合科学技術研究科情報学専攻へ進学しました。

海外での研究発表、英語で悔しい思いも

大学では英語学習に精を出しました。海外で研究発表をする機会をいただいた際、相手の主張を理解し、自分の意見を表現する難しさを実感。その悔しい経験が学習のモチベーションにつながり、現在も海外顧客との仕事で役立っています。今後は、積極的に海外に赴き、より英語を使う業務にも挑戦していきたいと思っています。



在学中に香港で研究発表しました

納期厳守! 「生産管理」にやりがい

ものづくりに興味があり、製造業への就職を目指していた時に、生産管理という「製造業ならではの職種」があることを父から教わり、興味を持ちました。大学時代、部活動は自動車部で、全中部大会で個人として優勝するほど打ち込んでいたので、自動車部品の生産管理の仕事を選びました。不具合が起きることもありますが、お客様への納期遵守を第

一に、状況把握、計画作成、適切な指示出しを即座に行い、ピンチを乗り切った時は、とても達成感があります。



自動車部で愛車の整備中

今だからこそできるチャレンジを!

大学生活は、毎日がとても楽しく、あっという間に時間が過ぎてしまいます。自由な時間がある今だからこそできる経験をたくさんしてほしいと思います。静岡大学には、研究室や部活動など、さまざまな経験ができるチャンスがいっぱい転がっています。ぜひ、それらを大いに活用し、皆様の大学生活、引いては人生が実りあるものになることを願っています。



徹底した生産管理をしています





迷路のような 巨大書庫！

蔵書数は90万冊、
うち、60万冊が
4フロアに分かれた
書庫に納められています。



こちらの本はなんと
大正3年発行でした！
もっと古い本も
あるんだって！



明るくて
広々とした
読書空間



窓越しに見るセコイアの
樹が気持ちよさそうに
葉をゆらしています。



横一線、洗練された広々とした空間で
集中して勉強ができます！



ハイデスク・ハイチェアが置かれた
おしゃれな空間！一面大きな窓で
眺めもばっちり！



学生が作る本棚

図書館モニターの学生によって
選ばれた本は知識の宝庫！

静岡 キャンパス編

学生が紹介！図書館ツアー

浜松 キャンパス編



1人1ブース！

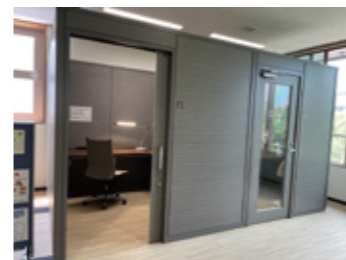


図書館モニターの
学生が厳選した本
を紹介しています！



カフェのようなソファで
グループ討論ができます！
新たなアイデアが浮かぶかも。
※現在はコロナ対策で利用が制限されています。

1:海が見えるよ〜！



ここは社長室か！？と錯覚してしまい
そんな高級感のある個人ブース。

テラス席が
ステキです！



新着図書コーナーには旬のテーマで
選び抜かれたおすすめ本がずらり。

緑に囲まれた
屋外テラスで
読書を楽しめます！



広報学生委員会 メンバー募集！

こちらのページは広報学生委員会で作成しました。
私たちと一緒に静岡大学の魅力をPRしませんか？
興味がある方はぜひお問い合わせください。
Email: koho_all@adb.shizuoka.ac.jp
広報学生委員会 / 新井璃子、武田葉奈、藤井七夢、丸山桜



一人静かに勉強したい人には個人ブース！
L字型の机にPCや資料をずらりと並べられます！

窓からは雄大な駿河湾を一望！
「海が見える図書館」ここにあり。



工学部電子物質科学科 脇谷・坂元研究室

私たちの研究室は、最先端のプロセス(PLD法、スパッタ法等)でセラミックナノ粒子やナノ薄膜を作製し、その構造を制御することで新しい機能を発現させることを目的として活動しています。

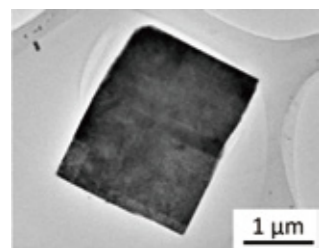
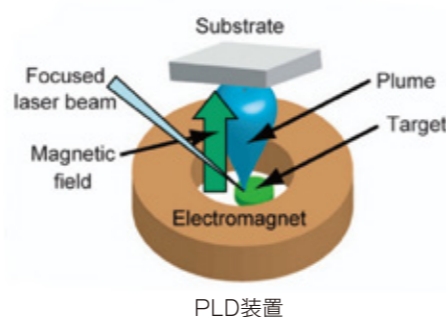


まだこの世にない材料を創ろうと 日々研究を進めています



脇谷尚樹 教授

ダイナミックオーロラPLDというこの研究室にしかない装置を使って、まだこの世にない材料を創ろうと日々研究を進めています。SOFCやスマートウィンドウなど社会に役立つモノへの応用を目指しています。

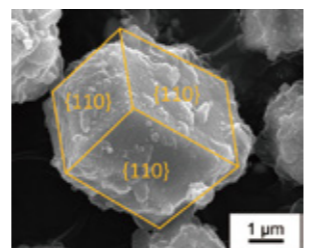


観察されたナノシート

左の画像は厚さ数ナノの無機材料であるナノシートです。材料を非常に薄くすることで、従来にはない新たな機能の発現が期待されています。



坂元尚紀 准教授



LLZTO単結晶のSEM画像

Liイオン全固体電池の実現に役立つ良質な結晶をつくる手法を開発したり、新しい概念を利用した高性能磁気メモリを目指してナノメートルサイズの薄膜を作ったりして、研究を進めています。



川口昂彦 助教

WELCOME TO WAKIYA SAKAMOTO LAB

年間イベント

新入生歓迎会



お菓子やジュースを用意して、新入生歓迎会を行います。歓迎の意を込めて新入生へプレゼントを渡します。

キックベース大会



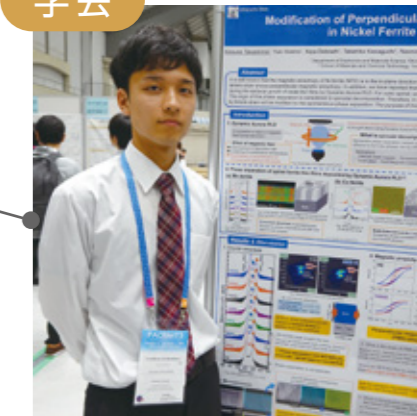
近くの和地山公園にて、キックベース大会を開催します。毎年の恒例行事で盛り上がっています。

前期末パーティ



私たちの研究室には10種類以上のボードゲームが置いてあり、定期的にもみんなで遊んでいます。

学会



もちろん研究も頑張っています。写真は沖縄での国際学会の様子です。学会発表ではたくさんの受賞もしています。

テクノフェスタ



毎年大学祭と同日に行われるテクノフェスタでは、七宝焼を通して地元の子供たちに無機化学の楽しさを教えています。

クリスマスパーティ



年末最後のゼミの後にクリスマスパーティを行います。ビンゴ大会ではアマゾンタブレットなどの豪華な賞品も用意します。

追い出しコンパ

卒業、修了する先輩方を研究室の皆で送り出します。今までの思い出話に花が咲きます。





「故郷が恋しくなったら地元料理のナンチャンブルを食べます」と語るイブラヒムさん

Vol.3 日本が誇る ものづくりの精神で 人々の生活を豊かに

トリーク イブラヒムさん (インドネシア出身)
総合科学技術研究科工学専攻(2022年卒業)
2023年4月よりソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社 勤務

ABPの支援のおかげで、修士まで6年間、中でも研究室での3年間は、自分のやりたかったカメラのイメージセンサの研究に思いっきり打ち込むことができました。光すらゆっくり進むように見える超高速イメージセンサを開発。初めて画像が映し出されたときの感動は、それまでの苦勞を忘れるくらい素晴らしいものでした。



出身地ジョグジャカルタ郊外にある世界遺産「プランバナン寺院」

私が静岡大学に留学したいと思ったのは、日本で有数の工業地帯の一つである静岡で、ものづくりの精神を学びたかったからです。就職も研究を生かせる会社に決まり、これからは、日本が誇る最先端の半導体技術を学び、一人のエンジニアとして成長していきたいです。そして、人々の生活を豊かにできるような技術や製品の開発に貢献できたらうれしいです。



アジアブリッジプログラム(ABP)は、静岡県とアジア諸国の架け橋として活躍する人材を育成するため、企業や自治体と連携して、静岡大学で学ぶ留学生を応援しています。ご支援いただいている企業の皆様への感謝を込めて、活動をご報告します。



静岡大学では、持続可能な社会の実現を目指し、社会課題に多面的・戦略的にアプローチしています。今回は、SDGsにかかわる本学の活動の一環として、地域社会をパートナーとして、対話を通して地域の未来を共に拓く包括的な挑戦を紹介します。

本研究に関するSDGsのロゴ



出会いと対話を通してビジョンを共に描き、実現する「2030松崎プロジェクト」の新しい挑戦

未来社会デザイン機構・農学部 竹之内裕文 教授

松崎町、松崎町観光協会、伊豆半島ジオガイド協会とのパートナーシップに基づき、ビジョンと対話を大切にしながら「2030松崎プロジェクト」というモデル事業を進めています。2030年の松崎町の望ましい姿は?という問いを共有し、一人ひとりの願いに耳を傾け、それを実現するプロセスを練るという仕方、コミュニティをデザインします。地域住民を中心に、松崎にかかわりのある人びとと広く連携して、ビジョンの策定、2030年の到達目標(Goals)の設定、目標達成に向けたチーム活動を展開しています。本学の学生も活動に参加し、松崎町の次世代(中高生)と交流を深めています。学内外から、さらに多様な仲間が得られ、ネットワークが拡充することを願っています。



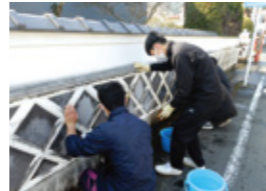
松崎プロジェクトHP



地域の多様なメンバーとの対話に挑戦しています。



古民家をミーティングルームとして再活用しています。



チーム活動の一環として、伝統的な「なまご壁」の保全活動を行っています。

静岡大学未来創成基金寄附者芳名一覧

教育・研究・社会連携を推進する財政基盤を強化するため、平成24年度に創設した基金です。ご寄附をいただきました皆様に、心より御礼申し上げます。

[個人]

青島 大太郎 様	五十嵐 靖和 様	石橋 伸之 様	稲村 啓子 様	上田 瑞恵 様	櫻本 裕文 様	大庭 荘司 様	岡 亨 様	小川 敬多 様	勝野 廣宣 様	河合 学 様	川人 祥二 様	木村 佳司 様	小西 達裕 様	坂井 孝嘉 様	塩路 修司 様	白柳 孝 様	鈴木 庸夫 様	高橋 賢 様	田中 保 様	出張 嘉朗 様	中西 洋一郎 様	中村 高遠 様	根津 重行 様	橋間 明生 様	樋口 泰清 様	廣内 隆 様	藤村 健男 様	増田 達也 様	松原 広幸 様	宮沢 和久 様	森 保 様	山際 一光 様	由木 幾夫 様	渡辺 勇 様	縣 正明 様	生田 照邦 様	伊集院 勝 様	稲本 浩之 様	植田 雄介 様	海老澤 嘉伸 様	大場 知明 様	小笠原 利行 様	奥田 喜章 様	桂川 昇 様	河岸 洋和 様	川辺 修二 様	金原 元 様	小林 充 様	坂内 允昭 様	島田 渉平 様	菅井 俊郎 様	須藤 智 様	高部 罔彦 様	田中 正之 様	寺尾 康司 様	中野 賢治 様	中村 智浩 様	野田 敏彦 様	橋本 岳 様	比田井 昌英 様	廣本 宣久 様	藤山 清二 様	増田 元 様	松村 宏 様	宮武 哲 様	森川 宏 様	山崎 敦子 様	雪嶋 孝雄 様	渡邊 祐次 様	赤松 俊彦 様	伊熊 貞男 様	泉 水 様	井上 治彦 様	宇賀田 栄次 様	遠藤 伸裕 様	大橋 一彦 様	岡田 剛 様	織田 ゆかり 様	加藤 信吾 様	河島 多恵 様	川村 洋介 様	朽名 志保 様	坂本 正登 様	清水 貴博 様	杉山 紗希 様	瀬尾 弘道 様	高柳 昌子 様	谷川 陽子 様	中川 洋一 様	中野 英彦 様	中村 啓幸 様	野村 富也 様	長谷川 信昭 様	日比 賢治 様	深尾 皓 様	本多 隆成 様	松浦 宏 様	松本 和宏 様	宮津 陽一郎 様	森田 信義 様	山下 景子 様	吉川 明成 様	割菟 浩二 様	浅井 秀樹 様	生駒 修治 様	一井 博光 様	内沢 忠央 様	大石 悟 様	大橋 剛介 様	岡田 正 様	小俣 光永 様	川嶋 弘通 様	川嶋 鉄樹 様	木田 博 様	栗山 明海 様	小山 芳明 様	坂本 雅幸 様	清水 弘幸 様	杉山 隆彦 様	高木 雅晴 様	武久 弘 様	玉置 年宏 様	長倉 史明 様	中丸 泰夫 様	名倉 成之 様	乗松 秀明 様	長谷川 祥志 様	平岡 耕一郎 様	福田 宏昭 様	本多 義弘 様	松岡 正樹 様	丸西 誠 様	宮脇 雅彦 様	森田 史雄 様	山下 昭二 様	吉田 誠裕 様	天野 浩一 様	石井 達之輔 様	一之瀬 敦幾 様	今村 幸治 様	内山 浩一 様	大石 彰持 様	大原 孝 様	岡田 純明 様	貝谷 拓巳 様	鎌田 章 様	河原 亮佑 様	北野 征展 様	釘持 泰彦 様	近藤 康幸 様	左口 治良 様	清水 康浩 様	鈴木 一成 様	高田 英典 様	丹村 忠男 様	丹沢 哲郎 様	中島 伸治 様	中村 彰 様	西井 卓 様	芳賀 利允 様	原 真希子 様	平野 伊助 様	藤井 良昭 様	前川 彰彦 様	松川 克明 様	三重野 哲 様	村田 孝 様	八木 伊三郎 様	山田 俊秀 様	吉田 寛 様	天野 裕 様	石坂 友孝 様	岩邊 茂雄 様	海野 有紀 様	太田 有紀 様	大本 義正 様	岡本 守礼 様	角正 康夫 様	神浦 宏宏 様	河原 勝重 様	木村 佑哉 様	河野 勝男 様	佐伯 祐輔 様	佐古 猛 様	下岡 靖宜 様	鈴木 眞一 様	高田 信 様	田崎 良忠 様	津田 大實 様	中島 正登 様	中村 仁士 様	西尾 正二 様	萩原 利行 様	原 真希子 様	平野 哲夫 様	藤田 武男 様	前澤 昭礼 様	松原 紀子 様	峰野 博史 様	村松 裕久 様	安富 啓太 様	山本 泰伸 様	吉山 三夫 様	飯濱 廣幸 様	石田 孝子 様	伊藤 吉泰 様	岩本 博実 様	江川 猛 様	大槻 幹 様	大柳 徹 様	岡本 康史 様	柏瀬 祥一 様	河合 弘之 様	河原 貴久 様	木村 洋子 様	後藤 光義 様	酒井 浩一 様	佐々木 晃史 様	白石 基 様	鈴木 信吾 様	高橋 國一 様	田代 陽介 様	津村 淳一 様	中西 一巴 様	中村 敬 様	西口 忠昭 様	朴 龍洙 様	原川 仁智 様	平濱 美紀子 様	藤野 清治 様	前田 和敬 様	松原 浩 様	宮崎 裕充 様	望月 英二 様	柳原 由典 様	湯川 正孝 様	ライオン 優子 様
----------	----------	---------	---------	---------	---------	---------	-------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	--------	--------	---------	----------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	-------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	----------	---------	----------	---------	--------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	----------	---------	---------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	-------	---------	----------	---------	---------	--------	----------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	----------	---------	--------	---------	--------	---------	----------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	--------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	----------	----------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	----------	----------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	----------	---------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	----------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	--------	---------	----------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	-----------

(以上 五十音順)

[法人等]

国本工業株式会社 様	株式会社コタカ技研 様	浜松工業会バルステック支部 様	一般社団法人インフォカート未来基金 様	理研軽金属工業株式会社 様	浜松工業会東京支部 様	株式会社アクティシステム 様	アプライド株式会社 様	ローム浜松株式会社 様	日本軽金属株式会社 様	エンシユウ株式会社 様	ヤマハ発動機株式会社 様	共和レザー株式会社 様	株式会社静岡アグリビジネス研究所 様	スズキ株式会社 様	浜松工業会栃木支部 様	株式会社アイシン 静岡風 様	静岡大学教育学部同窓会 様	一般財団法人鎌倉フェローシップ 様	矢崎化工株式会社 様	東海理機株式会社 様	萩原電気ホールディングス株式会社 様	株式会社キャタラー 様	アットマーク・コンサルティング合同会社 様	株式会社TOKAIホールディングス 様	須山建設株式会社 様	やまと興業株式会社 様	浜松工業会長野支部 様	スズキ株式会社佐鳴会 様	日星電気株式会社 様	遠藤科学株式会社 様
------------	-------------	-----------------	---------------------	---------------	-------------	----------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	-------------	--------------------	-----------	-------------	----------------	---------------	-------------------	------------	------------	--------------------	-------------	-----------------------	---------------------	------------	-------------	-------------	--------------	------------	------------

※ご芳名は、原則令和4年2月1日から令和4年7月31日までの間に寄附いただき、公開についてご承諾いただきました方について掲載しております。なお一部、クレジット等ご入金日により、前掲掲載分に間に合わなかった寄附者の方もあわせて掲載しております。ご入金が無確認の皆様については、今後、ご入金の確認ができ次第、順次、広報誌に掲載させていただきます。

令和3年度 基金活用のご報告

皆様からの寄附は、主に右記の事業に活用させていただきました。

・アジアブリッジプログラム事業	1586万円
・馬術部活動支援事業	423万7千円
・浜松キャンパス100周年記念事業	829万円

ウクライナ学生受入へのご支援へのお願い

ロシア軍のウクライナ侵攻に伴い、学業や研究活動を継続することが困難な大学間交流協定校(タラス・シェフチェンコ・キウ国立大学、ウクライナ国立技術大学)に在学する学生を交換留学生として受入れ生活支援を行い、学業や研究を継続できる環境を提供する事業です。

支援内容	・渡日までの支援(渡航費用) ・住居支援(静岡大学国際交流会館又は県営・市営住宅の無償提供) ・生活費支援(月額7万円を最大1年間支給)
------	--

寄附方法	《インターネットからお申込みの場合》 未来創成基金の寄附手続き用サイト”事業の種類”より「大学運営全般」をご選択のうえお申込みください。 《ゆうちょ銀行、郵便局、三井住友銀行窓口からお申込みの場合》 払込取扱票の”寄附目的”「大学運営全般」をご選択ください。お手元に払込取扱票がない場合は、静岡大学 広報・基金課基金係までお問合せください。
------	---

今後とも温かいご支援をお願いいたします

未来創成基金へのご寄附は、郵便振替やインターネットからのお申込み(クレジットカード・コンビニ決済等)をご利用いただけます。くわしくはウェブサイトをご覧ください。

静岡大学未来創成基金ウェブサイト

https://www.shizuoka.ac.jp/fund/
静岡大学広報・基金課 基金係 / 電話:054-238-5183 E-mail:kikin@adb.shizuoka.ac.jp

